



図書館だより

倉吉総合産業高等学校図書館

発行：平成25年7月10日



今、売れてる本

1	海賊とよばれた男 （上）・（下） (百田尚樹／著 講談社)	6	泣き童子 (宮部みゆき／著 文芸春秋)
2	医者に殺されない47の心得 (近藤誠／著 アスコム)	7	いつやるか？今でしょ！ (林修／著 宝島社)
3	心 (姜尚中／著 集英社)	8	天音。 (EXILE ATSUSHI／著 幻冬舎)
4	悲惨伝 (西尾維新／著 講談社)	9	色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年 (村上春樹／著 文藝春秋)
5	野心のすすめ (林真理子／著 講談社)	10	犬から聞いた素敵な話 (山口花／著 東邦出版)

(平成25年7月2日 株式会社トーハン調べ)

話題の本



『海賊とよばれた男 上・下』（百田尚樹／著 講談社）

「本屋大賞」受賞も当然の感動作です。

小さな石油会社を経営する国岡鐵造は、利益よりも「世のため人のために事を成す」ことを第一義とする気骨のある人です。太平洋戦争の敗戦で全てを失ってさえ、「社員は財産」という自己の信念に従い一人の社員もクビにせず、苦難に立ち向かいそれを乗り越えて行きます。

イランが石油国有化に踏み切り、英国や国際石油カルテルによって世界から孤立を余儀なくされた時も、国岡はイランの苦しみを見過ごすことができません。イランから石油を買う国が皆無の中、日本人の誇りにかけてもイランの窮地を救おうとタンカーを差し向け、英国海軍による海上封鎖を突破してイランの石油を日本へ持ち帰ることに成功します。

同じ著者による『永遠の0（ゼロ）』もおススメです。

おすすめ本2行紹介

- 『こんなに違う！世界の国語教科書』（二宮皓／監修 メディアファクトリー）
英・米・仏・独・露・中・韓・フィンランド・タイ・ケニアの、主として小学4年生が使う国語教科書を紹介しています。「十人十色」ならぬ「十国十色」。
- 『昭和ことば辞典』（大平一枝／著 ポプラ社）
平成の今ではほとんど使われないセリフのオンパレード。「ざけんじゃね〜ヨ」が昭和だと「おからかいになっちゃ困ります」。なんて品のある言い方！
- 『GUINNESS WORLD RECORDS 2013』
英語科の岩本先生からいただいた本です。『ギネスブック』の原書英語版。高校生でも分かる英語（のはず）です………が、分からない場合は写真を見て類推を。
- 『池上彰のニュースから世界が見える』（池上彰／著 文芸春秋）
おなじみ池上彰氏によるニュース解説と今後の予想。アベノミクスは「給料や年金は上がらないのに物価だけは上昇する」と、今年3月の段階ですで見抜いていました。

新着資料です

- 『明日は、もうそこに 夜回り先生の幸福論』（水谷修／著 海竜社）
- 『若者のホンネ 平成生まれは何を考えているのか』（香山リカ／著 朝日新聞出版）
- 『世界の美しい透明な生き物』（武田正倫／著 エクスナレッジ）
- 『宇宙へ「出張」してきます 古川聡のISS勤務167日』（古川聡／著 毎日新聞社）
- 『電気の基礎が一番わかる』（安藤幸司／著 技術評論社）
- 『丸の内タニタ食堂』（タニタ／著 大和書房）
- 『すべてがわかる！「発酵食品の」事典』（小泉武夫／監修 世界文化社）
- 『ファミリーレストラン 「外食」の近現代史』（今柊二／著 光文社）
- 『TTPでどうなる？あなたの生活と仕事』（宝島社）
- 『地域を変えるミュージアム』（玉村雅敏／編著 英治出版）
- 『負けを生かす技術』（為末大／著 朝日新聞出版）
- 『新約とある魔術の禁書目録 5～7』（鎌池和馬／著 アスキー・メディアワークス）
- 『暦物語』（西尾維新／著 講談社）
- 『残月一みをつくし料理帖』（高田郁／著 角川春樹事務所）
- 『93番目のキミ』（山田悠介／著 文芸社）
- 『高校入試』（湊かなえ／著 角川書店）
- 『「やりがいのある仕事」という幻想』（森博嗣／著 朝日新聞出版）
- 『20歳からの人生の考え方』（外山滋比古／著 海竜社）

